

(仮称)第2次札幌市 ICT 活用戦略 検討有識者会議

第2回 議事要旨

【議題1】第1回有識者会議の意見と対応について

- ・市内企業のテレワーク実施率が22%というのは高い数字だが、対象に個人事業主が含まれているからだと考えられる。法人企業のみを対象としたデータがあると実態が明確になるだろう。

【議題2】(仮称)第2次札幌市 ICT 活用戦略 基本戦略について

- ・いくつかのページで関連性が不明確な図が載っているように思われる。資料の構成はもう少し整理されている方が良いだろう。
- ・行政内部の話に重きを置いているように受け取られかねない。もし、地域産業のデジタル変革を進めたいのであれば、産業への影響も考慮すべきだろう。
- ・「官民共同の体制と仕組みづくりを検討する」となっているが、検討だけでは物足りなく感じる。あるべき姿を示すべきだろう。
- ・札幌市はデータ利活用の基盤を既に持っており、また、データ取引市場など先進的な取り組みもしている。この点も戦略に落とし込んでいただきたい。また、これらをリーディングケースとして全道にうまく展開できればよいと期待をしている。
- ・デジタル人材を育成していく中で、どのようにインセンティブを持たせるのかという観点があると、より現実的なものになるので、人事部局との関係も考えていく必要がでてくるだろう。
- ・市民にとって大事なものは行政である、と受け取れるが、住民活動の中にも価値のあるコンテンツがある。ICTを使って、行政にできないものを繋いで集めていくという視点も必要だ。
- ・この戦略によって、市民目線で何が良くなるのかという点が分かりづらいと感じる。個々の具体的な課題にどうつながるかが明確に示されると良いだろう。
- ・人材育成をしてICTスキルが向上すると、柔軟な働き方ができるようになるが、行政や企業が柔軟な働き方に対応していないと、人材が離れていくだろう。人材育成とともに働き方を考えるべきだ。

- ・数値目標について、「ＩＣＴ化に対する市民意識」「生産性向上」「地域産業のＩＣＴ化」の３つの項目に関しては、ＩＣＴ活用戦略による効果なのか分析するのが難しいのではないかな。
- ・市民のためと謳いつつ、成果目標として「ＩＣＴ化に対する市民意識」だけなのは物足りないのではないかな。
- ・社会問題・社会課題についての解像度を上げていく必要があるのではないだろうか。２０４０年に高齢者人口がピークを迎えることなどを考えると、行政の仕事が非常に増える可能性があり、現在の体制で耐えられるのか、など現場の業務と将来像を常にリンクさせて考える必要があるだろう。
- ・デジタルを使ってＩＴが得意な市民が困っている市民を助ける仕組みを作ることができればよいと思う。
- ・行政で担う仕事が増えてきているので、個々のサービスに関しては官民連携して進めていけるとよいだろう。加えて、北海道は広いので、ラストワンマイルの事業者との連携も考えていきたい。民間からの課題解決の提案が活発にできる環境づくりができるとよいだろう。
- ・第１次と第２次の差分をとると、９割変わっていないのだろうという印象だ。実装するための課題などの具体的な振り返りがないように感じる。
- ・普通のことを実施しても仕方がないと思うので、もう少しワクワクするようなＩＣＴ戦略があってもいいのではないかな。
- ・自分の業務がどのように市民に貢献できるのか、自分の仕事の何がデジタルに置き換えられるのかを考えることができる人材を育成することでＤＸが進んでいくのではないだろうか。
- ・コストが課題であるので、その点をどのように吸収していくかという視点を盛り込んでいくことが大切だろう。
- ・ＩＣＴの活用をすることで具体的に市民に還元されるものが見えるとスマホの普及が進むのではないだろうか。成果指標に「スマホの利用者数」があってもよいのではないかな。
- ・データの利活用に関しては進めていただきたい。庁内の中で共有していく仕組みを作るうえで、庁内のデータがどの範囲であれば公開できるかについて考えていくのは有意義だろう。
- ・市民としては既に行政にデータを預けているので、庁内で共有されてメリットがある

ことに関してはポジティブに捉えてくれるだろう。

- データの連携については部門を跨いだ情報連携と、地域を跨いだ連携の2つがあり、引っ越ししたあとの引き継ぎも重要だ。市だけでなく道とも連携して進めていく必要があるだろう。
- 未来を期待させるような内容にしてほしい。
- 行政DX推進リーダーを100人つくる取り組みで人材の類型化をしていく中で、様々なタレントを持った人間を想定すると思うが、それぞれどのように獲得していくのかを検討していく必要があるだろう。
- デジタルに閉じてしまうことのないように、推進体制などの全体的なデザインとセットに考えていくべき話だろう。
- 市民が一番課題に感じていることは何かと考えると、除雪・防災であつたり犯罪・安心安全ということであつたりするだろう。次回では、市民の意見も吸い上げて、定めていければよいと考えている。
- 5年間での技術の差分を意識すると、前回の戦略との差分がより際立つだろう。
- 技術の進化に対してアナログ規制が緩くなっていくという観点も必要だ。行政のICT活用に対してかかっている規制についても考えていきたい。
- 手続き処理をするよりも問題解決をする人が求められている。この観点ではデジタルは呼び水になるので、検討していただきたい。

以上